

平成 2 6 年 度

九州食料・農業・農村情勢報告

九州農政局



平成 2 7 年 6 月

農林水産省

表紙の写真

あさくら三連水車
(トピックス編 P15参照)

場所：福岡県朝倉市菱野^{あさくらしひしの}

撮影：九州農政局

つうじゅんきょう
通潤橋

(トピックス編 P15参照)

場所：熊本県山都町長原^{やまとちようながはら}

撮影：九州農政局

は じ め に

農林水産省では、「農林水産業・地域の活力創造プラン（平成25年12月決定、26年6月改訂）」に基づき、強い農林水産業（産業政策）と美しく活力のある農山漁村（地域政策）を創り上げるため、必要な予算を確保し、農地中間管理機構による農地集積・集約化、水田フル活用と米政策の見直し、経営所得安定対策の見直し、日本型直接支払制度の創設などの農政改革を進めてきています。

また、平成27年3月には、新たな「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定し、農業の構造改革や新たな需要の取り込み等を通じて農業や食品産業の成長産業化を促進するための産業政策と、構造改革を後押ししつつ農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を促進するための地域政策を車の両輪として進め、若者たちが希望を持てる「強い農業」と「美しく活力ある農村」の創出を目指して、関係府省の連携の下、食料・農業・農村に関する施策を総合的かつ計画的に推進することとされました。

この『平成26年度 九州食料・農業・農村情勢報告』は、こうした農政改革などに関する最近の九州農政局管内の動きを踏まえ、26年度の食料・農業・農村をめぐる情勢、課題と対応を取りまとめたものです。

巻頭では、この1年間の主な出来事をトピックスとして紹介しています。

また、特集編として、九州農業の担い手確保に向けて、担い手の現状や課題、担い手育成等への支援策の活用、女性農業者の活躍などについて、管内の事例を紹介しながら整理しました。

さらに、動向編として、25年から26年にかけての九州農業の動向を概観するほか、食料自給率向上と食の安全の確保、農業の持続的発展、農山漁村の活性化・多様な交流に向けての各種取組を取り上げています。

本報告書が、九州の農業や農村の厳しい現状や取組等に関する理解のための資料として広く活用され、今後の九州の食料・農業・農村の発展の一助となれば幸いです。

最後に本報告書の作成に当たり、資料の収集、調査等に多大なご協力をいただきました方々に対して、心より感謝を申し上げます。

平成27年6月

九州農政局長 井上 明

トピックス編

1	オール九州農水産物トレードフェアinシンガポール	3
2	次世代施設園芸「宮崎県国富町」の整備	5
3	飼料用米の生産・利用の拡大に向けた取組	7
4	農地中間管理事業の取組状況	9
5	ディスカバー農山漁村の宝（第1回）に九州管内から3地区選定	12
6	山田堰・堀川用水・水車群及び通潤用水が「かんがい施設遺産」に登録	14
7	国営施設機能保全事業「大淀川右岸地区」に着手	16
8	家畜伝染病に対する防疫対応	18

特集編 九州の多様な農業の展開と担い手

特集編の編集にあたって	25
コラム【解説：「担い手」とは】	26
第1章 九州の多様な農業展開と担い手の状況	27
1 九州の農業の状況	27
(1) 多様な農業の展開	27
(2) 農業者の現状	29
2 担い手の現状と課題	34
(1) 認定農業者	34
コラム【九州・沖縄ブロック認定農業者等担い手サミットinくまもと2015の開催】	36
(2) 集落営農組織	36
(3) 農業法人	39
(4) 新規就農・企業参入	42
第2章 担い手の取組事例	50
1 認定農業者の取組	50
事例【農地の集約と大型機械の導入による作業の効率化】	50
事例【家族経営でいちご栽培の大規模化】	51
2 集落営農の取組	51
事例【担い手と集落営農の共存による地域農業の維持】	52
事例【複合経営での加工・販売の取組】	53
事例【集落営農の再編・統合による大規模法人化】	54
3 法人の取組	55
事例【ニーズに応じた米づくり】	55
事例【環境に配慮した農場づくりへの取組】	56
事例【農協出資の法人で農地集積】	57
事例【中山間地域での効率的な農地利用集積】	58
4 新規就農・企業参入	59
事例【新規就農の取組】	59
事例【株式会社の農業参入の取組】	60
5 女性の活躍	61
事例【桜島の降灰を付加価値に変えて】	61
事例【家族経営協定を活用し経営発展の取組】	62

第3章	担い手の確保に向けた対応	63
1	課題への対応と方向性	63
(1)	農業者の経営発展に向けた方策	63
コラム	【「九州農政局長と語る会」及び「人材育成セミナー」の開催】	66
(2)	新たな農業者の確保	66
コラム	【「農業参入フェア2014 in 福岡」の開催】	70
(3)	土地利用型部門の課題への対応	71
(4)	経営の継承	72
2	女性農業者の活躍に向けて	73
特集編の編集を終えて		76
参考資料		77

動 向 編

第1章	九州農業の主要指標の動き	87
1	農業経営の動向	87
(1)	農業産出額	87
(2)	農業経営収支（個別経営1経営体当たり）	87
(3)	農業経営体等	88
2	農畜産物の動向	89
(1)	水稻の生産状況	89
(2)	麦の生産状況	89
(3)	大豆の生産状況	90
(4)	野菜の生産状況（指定野菜14品目）	90
(5)	果樹の栽培状況	90
(6)	畜産の飼養状況（26年2月1日現在）	91
第2章	食料自給率向上と食の安全の確保に向けた取組	93
1	食料自給率の向上を目指して	93
2	食育と地産地消の推進	96
(1)	食育の推進	96
(2)	九州の豊かな農畜産物の地産地消の推進	98
3	食の安全と消費者の信頼確保	99
(1)	農業生産工程管理（GAP）の推進	99
(2)	家畜の伝染性疾病への対応	100
(3)	効率的・効果的な病虫害防除に向けた取組	101
(4)	米穀等の適正流通確保に向けた取組	102
(5)	適正な食品表示に向けた取組	103
(6)	消費者に対する情報提供とニーズの把握	104
4	自然災害による農業関係被害の発生と対応	107
第3章	農業の持続的発展に向けて	108
1	人と農地の問題を解決する取組	108
(1)	「人・農地プラン」の作成状況	108
(2)	新規就農者の育成確保	108
(3)	認定農業者の現状	111
(4)	農業経営の法人化等	111
(5)	農村女性の活動の促進に向けた取組	114
(6)	農地の流動化と面的集積の推進	116
(7)	農地整備を契機とした担い手への農地利用集積	117
2	経営所得安定対策等の取組	119
(1)	経営形態別加入申請状況	119
(2)	交付金別加入申請状況	119
(3)	対象作物別の作付計画面積	120

3	農業農村整備等の展開	121
(1)	国営事業の実施状況	121
(2)	農業水利施設等の適切な更新・保全管理	121
(3)	水田の整備状況	122
(4)	畑の整備状況	123
(5)	農村地域の防災・減災対策	124
4	農業所得増大に向けた取組	125
(1)	農山漁村の6次産業化の取組	125
(2)	農林水産物・食品の輸出拡大の取組	128
5	九州における農産物の生産振興・消費拡大	130
(1)	米	130
(2)	麦類	132
(3)	大豆	134
(4)	野菜・果樹	135
(5)	花き・茶・葉たばこ	139
(6)	さとうきび・でん粉原料用かんしょ	142
(7)	畜産	143
(8)	飼料作物等	145
(9)	技術開発・普及の動向	148
6	環境保全型農業への取組	150
(1)	環境保全型農業直接支払の実施	150
(2)	エコファーマー認定取得の状況	151
(3)	有機農業の推進	151
第4章	地域資源を活かした農村の振興・活性化	153
1	農山漁村の活性化に向けて	153
(1)	農山漁村活性化の取組	153
(2)	農業と医療・福祉との連携	156
2	農業・農村機能の維持と地域資源の保全	158
(1)	農業・農村の持つ多面的な機能	158
(2)	中山間地域の活性化に向けて	160
(3)	農地・農業用水等の保全管理の現状と取組	163
3	耕作放棄地の現状と解消に向けた取組	165
(1)	耕地面積と耕地利用率	165
(2)	耕作放棄地解消の取組	166
4	鳥獣被害とその対策	168
5	エネルギー生産への農山漁村の資源の有効活用	171
(1)	再生可能エネルギー導入の取組	171
(2)	小水力発電等の再生可能エネルギーの有効利用に向けて	172
(3)	豊富なバイオマスを活かして	173

巻末資料

I	平成26年度（第53回）農林水産祭参加表彰行事の農林水産大臣賞受賞者一覧	179
II	参考付表	183